

①学習課題（中学校 2 年生）



【国語】

＜内容＞

○教科書の「生物が記録する科学——バイオリギングの可能性」(P42～P48)を読んで、説明の仕方について、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。（2 週継続）

＜取り組み方＞

- ① 教科書本文を音読しよう。
 - ② 形式段落に 1 から順に番号をふろう。
 - ③ 1～4 段落を読んで、「バイオリギング」とはどのようなものか、簡潔にまとめてみよう。
 - ・例)「バイオリギング」とは〇〇〇〇〇という意味で、△△△△△というものである。
 - ④ 本文中に出てくる 2 つの調査内容と結果について、わかりやすくまとめてみよう。
 - ・例)「1 つめの調査では、〇〇年に、ペンギンの△△△△△についての調査を行った。この調査の結果、ペンギンは□□□□□ということが判明した。」
- ※①～④に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

【社会】

＜内容＞

織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして全国を統一していったのだろう。また、秀吉の政策により、どのような社会の土台がつけられたのだろう。調べたり考えたことを取組シートやノートにまとめてみよう。

＜取り組み方＞

- (1) 信長が行ったことを、「戦い・武力」と「商工業」に注目し、教科書 P94～95 の本文や資料から探し、まとめてみましょう。
- (2) 秀吉が果たした「全国統一」とはどのような状態か、教科書 P95 から読み取り、まとめてみましょう。
- (3) 秀吉が行った、「刀狩」や「太閤検地」とはどんな政策か、教科書 P96、97 の本文や資料で調べ、まとめてみましょう。
- (4) 海外とのかかわりに関して、秀吉が行ったことを、「キリスト教」や「朝鮮」に注目し、教科書 P96～97 で調べ、まとめてみましょう。

＜学習のヒント＞

- (1) 「信長は〇〇〇（する）ことで、◇◇◇しようとした」のようにまとめ、信長のねらいを整理してみましょう。
- (2) 「応仁の乱」から「秀吉が全国を統一する」までに起こったできごとを、教科書巻末の歴史年表で確認してみましょう。その際、日本の歩みだけでなく、世界のおもなできごとについても確かめてみましょう。
- (3) 秀吉はなぜ武士と農民（百姓）の身分を区別しようとしたのか、考えてみましょう。
- (4) 秀吉の行った海外政策は、その後どのような影響をもたらしたのか、考えてみましょう。

【数学】

<内容>

連立方程式を解く方法を考えよう③

～加減法とは異なる方法を考えてみよう～

<取り組み方>

- ① 教科書 P43 の **例 6** の連立方程式を、加減法で解いてみよう。
- ② ①の加減法とは異なる解き方を考えてみよう。「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。（家の人に説明してもよい。）
- ③ 教科書 P47 の **例 4** を2つの方法で解いてみよう。また、どちらの方法で解いた方が楽に解けるか、自分の考えを「取組シート」やノートに説明を書いてみよう。
- ④ 教科書 P48 の **問 6** を代入法で解いてみよう。また、P48 の **問 7** を適当な方法で解いてみよう。

見通しをもって効率よく解く方法を選択できると、連立方程式が解きやすくなるよ。

<学習のヒント>

- ① 加減法とは、どちらかの文字の係数の絶対値をそろえ、2つの式の左辺どうし、右辺どうしを加えたりひいたりすることによって、その文字を消去する連立方程式の解き方のことです。
- ② 教科書 P47 の Q の結衣さんの考えを参考にしよう。
- ③ 加減法と②の結衣さんの方法で解いてみよう。②の結衣さんの方法を代入法と言います。
どちらで解いても、解は同じです。解きやすい方法はどちらか、また、それはなぜ解きやすいのか考えてみよう。
- ④ 教科書 P48 の **問 6** の (3) は、上の式を下の式に代入すると、 $7x - 2 = 4x + 1$ になるね。(4) は、加減法で解きたくなる形だけど、係数の絶対値が1の場合は、 $x = \bigcirc$ や、 $y = \bigcirc$ のように式変形をして、代入法で解いても簡単に解けるね。
教科書 P48 の **問 7** は、加減法、代入法のどちらで解いても解は同じです。自分が解きやすい方法で解いてみよう。

【理科】

<内容>

◆消化した栄養分は、どのようにして体内に取り入れられるのだろうか。

<取り組み方>

- ① 教科書 P20 を読み、表や図 15 の模式図を参考にしたイラストなどを用いてまとめてみましょう。

<まとめ方の例>

栄養分		吸収される場所	入る管	通る場所 など	到達する場所	
デンプン	➡ブドウ糖	小腸の柔毛	毛細血管	肝臓	全身の細胞へ	
タンパク質	➡					
無機質						
脂肪	➡		再び脂肪 となって ➡	血管に入る		

※ この例では、左から右に栄養分が体内を移動していく様子を表しています。

- ② なぜ柔毛のような突起物が多数あるのか、「表面積」に着目して、理由を説明してみましょう。

<学習のヒント>

下記ページを参考にするのもよいでしょう。

『NHK for School 10min. ボックス「消化と吸収」』

https://www.nhk.or.jp/rika/10min_rika2/?das_id=D0005110143_00000

【英語】

＜内容1＞

◆教科書 P20 Program 2② の Basic Dialog を読んで、次のことに取り組みましょう。

（教科書 P120 の巻末資料 1 で確認ができます。）

＜取り組み方＞ 2種類の学習方法がありますので、どちらかを選択しましょう。

★音声を聞きながら取り組む課題です。

- ①右のQRコードから Program 2②の Basic Dialog（教科書 p 20）の音声を聞きましょう。※QRコードが読み取れない場合は下記URLを入力してください。



http://www.kairyudo.co.jp/contents/05_kyoiku/support/chu/eigo/jidoseito/202004.htm

- ②どんな場面で、どんな内容の話をしているのか、考えてみましょう。
③青色・オレンジのそれぞれのパートになりきって、セリフのどの部分を相手にしっかり伝えるように工夫をしたらよいかを考えて読んでみましょう。

★音声がなくても取り組むことができる課題です。

- ①どんな場面で、どんな内容の話をしているのか、考えてみましょう。
②会話文を声に出して何度か読んでみましょう。
③青色・オレンジのそれぞれのパートになりきって、セリフのどの部分を相手にしっかり伝えるように工夫をしたらよいかを考えて読んでみましょう。

＜内容2＞

教科書 P21 の会話文は、由紀が自分の予定についてマイクに話している場面です。

④⑤に取り組みましょう。

＜取り組み方＞

- ④ ヘルシンキでの「由紀の予定」について、分かったことを、「取組シート」または「家にあるノート」に書いて日本語で書いてみましょう。

- ⑤ **挑戦問題** 下の英文を参考に、自分が今週末しようと思うことについて、声に出して言ってみましょう。また、「取組シート」または「家にあるノート」に、英語で書いてみましょう。

I **will** go cycling this weekend.（今週末、サイクリングに行こうと思います。）

ヒント 下線部を別の内容に置き換えて考えてみるといいね。

学習のヒント

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

小学校、中学校で共通して学習する内容を紹介しています。

新着動画→ 「一日の生活」「乗り物」「味」「衣類」「一日の時間・文房具」

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html

＜配信内容＞

「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数（日付）」

★ 「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」など



【音楽】

〈内容〉

◆歌詞の表す様子を思い浮かべながら、「浜辺の歌」を歌いましょう。

（中学音楽２・３上 教科書 p12 - 15）

○この学習課題は発展課題なので取り組めなくても大丈夫です。

パソコンなどで見たり聴いたりできる人で、チャレンジできる人はやってみましょう。

〈取り組み方〉

① 12～13 ページを見て、縦書きの歌詞を声に出して読んでみよう。

② 12～15 ページの写真を見て、歌詞で表現している風景を想像してみよう。

③ 14～15 ページの楽譜を見ながら、何度も聴いたり、口ずさんだりして、この曲がどんな感じがしたかをメモしておこう。

♪「浜辺の歌」の動画♪



例) 穏やかな感じ、やさしい感じ、明るい感じ など

④ 教科書等の浜辺の写真を眺めながら、この曲に合う歌声を考えて、歌ってみよう。

♪「浜辺の歌」の音源（伴奏のみ）♪



例) 明るく伸びのある声、やさしくきれいな声など

*歌い始めのタイミングや、リズムの取り方が難しいので、

③の動画を何度も見ながら、練習するものよいですね。

学習のヒント

- ・動画は＜学習課題 6 月 8 日～12 日＞のページにも掲載しています。曲名を選択して、聞いてください。

http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/tyuugakkou_6_8_12.html



動画の解説もあります



【 保健体育 】

＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

＜取り組み方＞

動画 URL <https://youtu.be/BAaLJch83LQ>

動画とイラストを参考に関節や筋肉の動きにあった運動を選んでやってみよう。

④【動きを持続する能力】＜6月8日～12日＞

今週はココ

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。



1つの種目で



1つ又は複数の運動を一定の時間連続して行ったり、回数を反復したりして、動きを持続する能力を高めよう。



複数の種目で



☞動きを持続する能力 ※やってみた運動を書いてください

☞自分に合った運動の強度にするための工夫を書いてみよう。例：一回では辛くなかったので三回繰り返した。

※今週は動きを持続する能力について行いました。
来週⑤を行います。

＜学習のヒント＞

- 動きを持続する能力で、少し辛いと感じる回数や時間を調整して挑戦しよう。
- 室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。

①【体の柔らかさ】＜5月18～22日＞

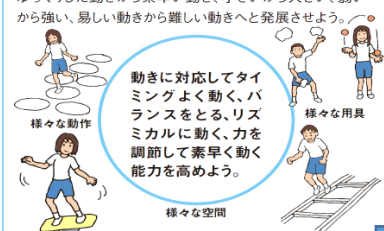
どの部位を解しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。



体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解して、可動範囲を広げよう。

②【巧みな動き】＜25日～29日＞

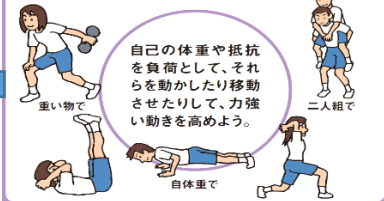
ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。



動きに対応してタイミングよく動く、バランスをとる、リズミカルに動く、力を調節して素早く動く能力を高めよう。

③【力強い動き】＜6月1日～5日＞

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。



自己の体重や抵抗を負荷として、それらを動かしたり移動させたりして、力強い動きを高めよう。

今後の見通しです。
今週はやらなくていいです。

⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選ぼう

--	--

■運動後に実感した効果を考えてみよう

--

【技術・家庭科（家庭分野）】

技術・家庭科（家庭分野）では課題 A～Cの中から興味のあるものをひとつ選んで取り組んでみましょう。必ず家の人にも相談して取り組むようにしよう。

課題 A

＜内容＞

教科書の「1日家事体験（P250）」を参考に自分の家では1日の生活の中でどんな家事が行われているのか調べ、取り組んでみよう。イラストなどを使って分かりやすく取り組みシート1枚にまとめよう。最後に自分の感想に、家族からのコメントも書いてもらおう。

＜取り組み方＞

- ①教科書 P14～15 の「家族のはたらきを支える仕事」も参考にしよう。
- ②始める前に家の人とよく相談しよう。食事の準備などでは包丁や、ガス火などを使います。家の人にどんなことに注意すれば良いかよく確認してから取り組みましょう。
- ③掃除や洗濯などで洗剤を使う場合は家の人に聞いたり、ゴム手袋を使うなどして安全面に注意したりしながら取り組みましょう。

＜学習のヒント＞

- ①食事作りについて 教科書 P78～79、100～127
- ②衣服の手入れについて 教科書 P174～179、182～189
- ③住まいについて 教科書 P154～155

課題 B 別紙プリント・動画あり

＜内容＞

布マスクを作ってみよう。小学校で学習したなみ縫いで作ることができます。

エコマスク動画

<https://youtu.be/M79bd5HImqM>



簡単マスク動画

<https://youtu.be/JSHq4DTb8qU>



＜取り組み方＞

- ①まずは材料を準備しましょう。新しく購入するのではなく、家にあるもので工夫してみましょう。マスクゴムもヘアゴムやリボンなどで工夫することができます。
- ②家にある使い捨てマスクなどで自分に合う大きさを調べておくと便利です。

〈学習のヒント〉

- ①作り方のプリントや動画を参考にしよう。
- ②小学校で学習した「玉結び」「玉どめ」「なみ縫い」を思い出そう。
中学校の教科書ではP186とP188を参考にしましょう。
- ③縫い針やまち針、裁ちばさみなどを使う時は安全面に気を付け、きちんと片付けましょう。

課題C

〈内容〉

「環境に配慮した消費生活（P236～244）」を読みましょう。

私たちの住む札幌では環境に配慮した生活スタイルを実現するために、どのような取り組みが行われているか調べ、取り組みシートに分かりやすくまとめてみよう。

〈学習のヒント〉

- ①小学校で学んだことを思い出してみよう。
- ②自分の家ではどんなことに気をつけているか家族に聞いてみよう。
- ③札幌市と札幌市以外に分けて考えてみよう。（札幌市以外・・・スーパーの取り組み例、段ボールや新聞・雑誌などの回収ステーションなど）
- ④札幌市のホームページで「環境」に関するところをのぞいてみよう。



1 まず素材を探します。

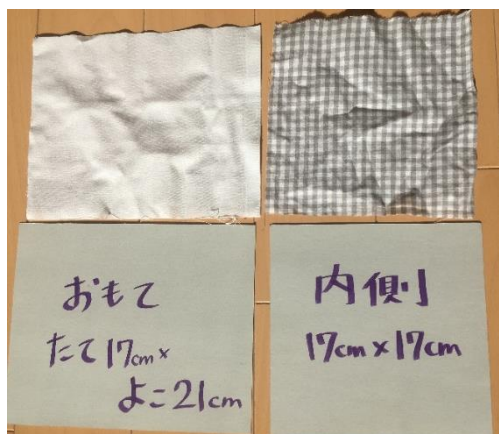
余り布がない場合はブラウス、ハンカチなど家にあるもので工夫してみましょう。赤ちゃんや幼児の服などは綿 100%のものが多いです。柔らかい布、薄い布を探しましょう。

組成表示

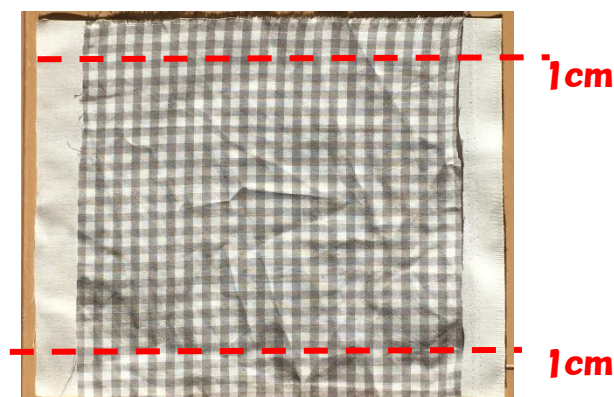
綿 100%



2 布を切ります。

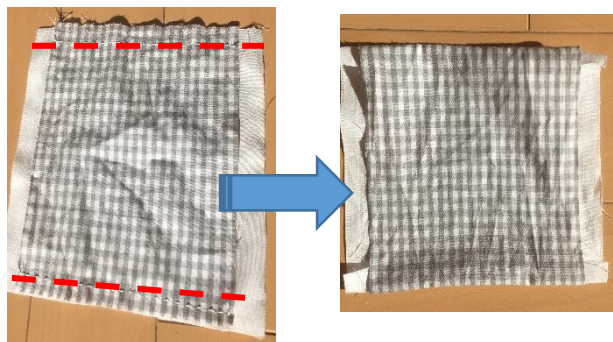


3 2枚重ねてなみ縫いをします。



大きい布の左右の余りが同じくらいになるようにします。

4 縫い目が内側になるようにひっくり返します。



5 たてが9cmになるようにプリーツをつけます。まち針でとめます

プリーツ
部分をま
ち針でと
める



6 ゴムを入れるところを縫います



ゴムを入れる部分は太い方が入れやすいです。ゴムは「ヘアゴム」や「細めのひも」「毛糸」などでも代用できます。ゴム通しがない場合は「安全ピン」で代用できます。

7 ゴムを入れて完成

完成



使いやすい大きさのマスクに合わせることも可能です。

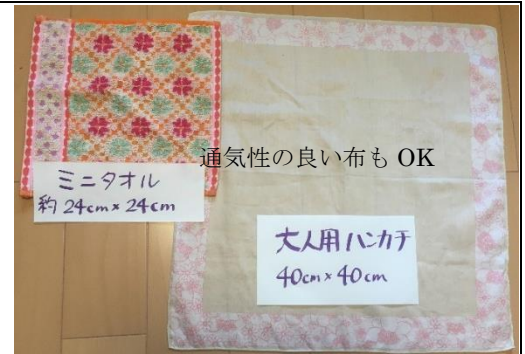
簡単マスク作り

不器用さんにおすすめ！

1
準備する

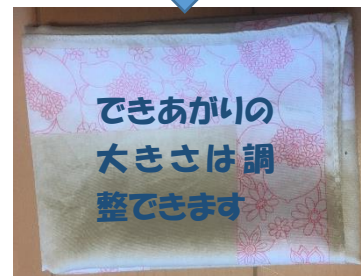
1 ハンカチ、ミニタオルを準備します。
タオル地の場合はうすい方が縫いやすいです。
縫い針、糸、まち針も準備しておきましょう。

ゴムひもがない場合細いひもやリボン、ヘアゴムでも良いです。探してみよう。ゴム通しの代用品として安全ピンが便利です。



2
布を折る

(大人用ハンカチの場合)



(ミニタオルの場合)

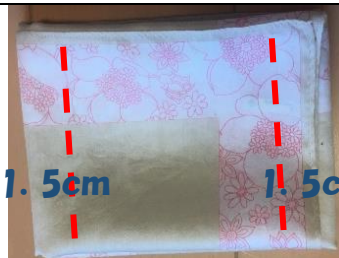
まち針で4カ所止めると良い



できあがりの大きさは調整→
できます



3
縫う



左右のはじから
1.5cm位のところを縫います。



4
ひも・ゴムを入れる



糸をほどけば元の形になるので、便利です。



細いリボンを使ったマスク